

事例の概要

この事例の登場人物、施設名等の名称はすべて仮称です。

水道橋久さん

記入者 支援センターひまわり 相談支援専門員 六本木はやと

事例タイトル	父親と弟との暮らしが困難になり、グループホームと就 B を利用しながら地域で生活することを希望している事例
相談経過の要約	<p>久さんは、A市で2人兄弟の長男として出生。初語や歩行が少し遅かったが、3歳児健診などでは特に保健師の指摘事項は無かった。小学校の1～2年生の時は普通学級に通っていたが、授業中落ち着きが無く、席を立って教室内を歩きまわったり、突然怒りだし友達に手をあげて殴ってしまうことがあった。</p> <p>小学校3年生からは、自閉症・情緒支援の特別支援学級に移った。小学校6年生の秋に、他の生徒との学力の差、学習環境に馴染めないこと等から、担任からは、中学は特別支援学校への進学を勧められた。その際、児童相談所で療育の判定を受け、軽度の知的障害であった。</p> <p>中学はA市内にある特別支援学校に進学。中学校での生活は、太鼓部に所属し部活動では楽しく過ごしていた。太鼓部の顧問は、久さんのできるところは積極的にほめて、苦手なところは根気よく教えてくれた。また昆虫も大好きで、図鑑を見たりしている時は周りの声が聞こえないほど集中していた。同じクラスに昆虫好きの友達があった。父親が大工だったこともあり、久さんも木工に興味をもって犬小屋をつくった。</p> <p>久さんが中学校2年生の秋に両親が離婚。母親が統合失調症で自分のことでせいっぱいで家族の面倒をみられなくなり家を飛び出してしまった。以後、父親と弟の3人暮らしとなった。その後、久さんは母親と1年に1～2回は会っている。離婚後、父親は家のことを何とかこなしていたが、徐々に家の中が乱雑になり、久さんも学校を休みがちになった。</p> <p>久さんは、特別支援学校の高等部を卒業し、製造部品を作る工場に就職。面倒見の良い上司がいて久さんも素直に対応した。上司がわかるまで丁寧に教えてくれて、いったん覚えると自信をもってできていた。ときに叱られることがあっても、素直に聞いて安心して働いていた。しかし、1年後に上司が変わり、新しい上司は他の職員の対応に追われて、久さんにあまり気を配らなくなった。それから半年後に、久さんは「上司からの注意が怖い」「仕事に集中して取り組めない」などの不安を訴え、工場に通えなくなり、そのまま退職してしまった。それ以降「誰とも会いたくない」「近所の人たちがバカにしてくる」と話して、求職活動もなかなかできず自宅でのひきこもり状態の生活になっていた。久さんが退職して半年後、大工をしていた父親が通勤途中に交通事故にあい大けがをした。父親は右半身に麻痺が残り、仕事ができなくなった。最初のころは貯蓄で何とか生活していたが、まもなく底をつき生活保護となった。それまで父親が家事などを行っていたので、さらに乱雑な状態となり、食事も偏りが見られた。</p> <p>父親から「久の面倒をみていくことができない。何とか施設に入れてもらえないか」と市役所に相談があり、久さんも「お父さんと離れて、自分で生活できるようになりたい」と希望した。久さんは、相談支援センターひまわりで相談を始めて、見学等も行おう中「相談しながらやっていきたい」「今は朝も起きられない」「掃除や洗濯、調理もできない」。でも、「いずれ自分のことは自分でできるようになりたい」ので「一人暮らしに向けた準備をしたい」し「すぐに働く自信はないのでそのために力をつけたい」とグループホームを利用しながら、就労継続支援 B 型事業所に通所することを希望した。</p>

<p>年齢・性別・家族構成・家族状況・現在の居住歴</p>	<p>年齢 22 歳 性別（男性） A市で生まれ育った。</p> <p>家族構成</p> <p>父：もともとは大工。以前はとても面倒見が良かった。無職 交通事故で右半身に麻痺が残る。何とか自分のことはこなせるが、子どもたちの世話をすることができなくなっていた。久さんの施設入所を考えていたが、久さんの「自立したい」という気持ちを聞いて、久さんには福祉サービスを利用して自立してほしいと思ってい</p> <p>母：A 市から少し離れた B 市に居住。生活保護を受給して一人暮らし。統合失調症の治療中で、久さんとの同居は難しい。年に 1～2 回久さんと会っている。</p> <p>弟：5 歳下。高校 3 年生。高校卒業後は就職する予定だが、兄の面倒までは見られないとのこと。</p>
<p>手帳・区分</p>	<p>療育手帳 障害程度は軽度 障害支援区分 3</p>
<p>生活歴及び病歴</p>	<p>【生活歴】</p> <p>A市で生まれ育つ。初語や歩行は少し遅かったが、特に保健師からの指摘事項はなかった。小学校 3 年生から情緒支援学級に通学、中高は特別支援学校に通学。好きなこと（木工や昆虫図鑑を見ること）は集中して取り組むことができるが、興味が無いと席に座っていることができない。また中学・高校は太鼓部に所属し、地域の演奏会などに参加。友達も数人いたが、自分から積極的に作るタイプではなかった。どちらかという受け身的な性格であり、話かけられるのを待つ方だった。困りごとがあっても相談できない。面倒見の良い人がいると安心して、指示や助言が素直に聞ける。</p> <p>仕事はしたいと思っていたが、またうまくいかないのではないかと、求職活動はできずにいた。</p> <p>【病歴】</p> <p>中学校進学時に、児童相談所で判定を受け療育手帳を取得。仕事を辞めた後、自宅で引きこもった生活をしていた。生活保護の担当 CW の勧めもあり、西村病院（内科・精神科）に受診。診断名は知的障害。眠剤と安定剤を 1 日 1 回処方されて飲み始めて、夜少し眠れるようになったと話す。現在も月 1 回の通院を継続中。</p>
<p>経済状況</p>	<p>障害基礎年金申請中 補足給付：家賃 10,000 円（申請中） 生活保護受給</p>
<p>相談に至る経緯</p>	<p>父親から久の生活の面倒が見られないので、施設に入所させたいと市役所に相談。</p>
<p>望んでいる暮らし</p>	<p>久さんの希望は、「父親には世話になったので迷惑をかけたくない」「自分のことは自分でできるようになりたい」「困りごと相談したい」「将来は一人で暮らしたい」と思っているが、「今は朝もなかなか起きられない」「掃除や洗濯、調理もできない」ことに困っている。そのため、「3 年後ぐらいにはまた働きたい」「今は働くことの自信はないので力をつけたい」「1 人でコツコツと集中できる作業が好き」「働くときには優しい上司がいるところが良い」と話している。友達がうまくつけれないことを気にして「一緒に遊ぶ友達が欲しい」「昆虫の話ができる友達ができたら最高」と言っている。</p> <p>自分で自立した生活というイメージがまだ持っていないが、周りの人の協力が得られれば、十分地域で生活できると、生活保護の担当者は考えている。</p> <p>久さんは、「3 年後には普通に仕事をして立派な男になりたい」と言っている。</p>

本人の状況と最近の様子	久さんは、こちらから話かけるとボソボソと返答するが、話をするのは好きな様子。久さんからの質問はほとんどない。久さんの見た目は年齢相応の好青年である。ただ、服装には少し汚れが目立っていた。相手の話を「はい、はい」と返事をするので、分かっているように見えるが、あとで確認するとよく理解できていないことがあった。
その他	父親の右半身に麻痺が残り、これ以上の回復は望めない状態。 弟は、普通高校に通い、健康状態の問題は特に無い。

アセスメント表

記録：相談支援センターひまわり 相談支援専門員：六本木はやと

相談日時	平成 30 年 6 月 5 日 13 時～15 時
氏名等	水道橋 久氏、22 歳 男性 知的障害（軽度） 障害支援区分 3 （月 1 回精神科受診）
望んでいる暮らし	《全体》 「父親には世話になったので迷惑をかけたくない」 「困りごとは相談したい」 「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」 《生活面》 「自分のことは自分でできるようになりたい」 「将来は一人で暮らしたい」が「今は朝もなかなか起きられない」し「掃除や洗濯、調理もできない」 「一緒に遊ぶ友達が欲しい、昆虫の話ができる友達ができたら最高」 《就労面》 「3年後ぐらいにはまた働きたい」 「今は働くことの自信はないので力をつけたい」 「1人でコツコツと集中できる作業が好き」 「働くときには優しい上司がいるところが良い」
心身の状況	身長 175 cm 体重 80 キロ 特に問題ない。久さんは最近肥満体形になってきているのを気にしている。
精神面の状況	突然怒り出したりすることは、以前に比べれば少なくなってきた。ただ自分のペースを乱されたり、急かされたりするとイライラしたりパニックになることがある。 見た目は大人しそう。高校時代の担任の先生は「普段は、穏やかに過ごしていた」「集中している時は、周りの声も耳に入らない」と言われていた。父親を尊敬していて世話になったと思っている。

生活の自立度	<p>朝起きるのが苦手で、生活リズムがなかなか安定していない。ADL は自立している。家事はあまりしたことがないが、父親からは「手先が器用だし一度覚えたことはきちんとする方だから、練習すればできるようになりそうだ」との意見。</p> <p>清潔には無頓着なところがあり、声かけがないと着替えや歯磨きなど整容がおろそかになりやすい。</p>
気持ちの自立度	<p>家を離れた暮らしは全く経験したことがないので、はじめは戸惑うこともあると思われる。また、自分の思い通りにならないと、他の方とトラブルになる可能性もあるので、イライラしそうなときには早めに職員に伝えられるとよい。</p>
服薬状況	<p>夜、寝る前の処方のみ。自分で薬の管理ができるように練習している。</p> <p>主治医からは「薬は軽いものなので生活が安定し、精神的に安定すればいずれ必要がなくなるかも知れない。本人が困っている時に周囲から気づける関係性ができると、これ以上の薬の必要性はない」と言われている。</p>
経済状況	<p>【収入面】 生活保護</p> <p>【支出面】 グループホームの費用 家賃 30,000 円（家賃補助 10,000 円） 食費 20,000 円 光熱水費15,000 円 日用品費 3,000 円 生活費（おこづかい） 20,000 円</p> <p>金銭管理は、仕訳を手伝えればその金額の中で使用することは可能。ただし欲しい物（菓子・ケーキなど）買いたい気持ちが高まると、浪費してしまうことがある。</p>
趣味	<p>昆虫の図鑑を見ること。手先が器用で木工が好き。菓子・ケーキ等の買い物など</p>
キーパーソン	<p>父親。交通事故で右半身に麻痺があり自分のことで精一杯。</p>
家族	<p>父方母方の祖父母について</p> <p>父方の祖母は県外（遠方）にいるが、母方の祖父母は他界している。</p> <p>両親と暮らしていたころは、年 1 回は家族で父方祖父母に会いに行っていた。</p>
就労	<p>手先が器用で興味をもつと集中できる。また、面倒見がいい人の話は素直に聞くことができる。しかし、以前の工場での仕事の経験から「人に会うのが怖い」「また注意されるのが心配」と不安感を述べる。「1 人でコツコツと集中できる作業が好き。」「働くときには優しい上司がいるところが良い」「3 年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」といずれしっかり働きたいという意欲はある。移動手段は、徒歩。公共交通機関は、これまでほとんど利用したことがないが、練習しただいでは利用できそうである。</p>

学齢期の情報

*以下の情報については、担当の相談支援専門員が久さんの過去のことを知る関係者を探し、情報を得たものである。

小学6年生の時に受けた児童相談所における判定状況	IQ68といった記録はあるが、詳しいデータは不明。
教育関係者からの情報	中学の太鼓部の顧問だった先生より、「中学一年の頃は、よくしゃべる子だった。張り切って何でもやりたがる子だった。幼い頃は、よく動き回る子だったと母親から聞いたことがある。」という話があった。
中学に入学後に母親と相談に行ったことがある専門機関からの情報（その後、年に一回のペースで数回その機関に通っている。離婚後もしばらく母親が連れて行っていた。）	<p>「母親がとても心配そうに久さんを連れてきて、『久はやさしい子です。でも乱暴なところがあるからと、学校から追い出されてしまったんです。何ができていないかを知りたいのです。』と訴えてきたので、印象に残っていますとのこと。（以下のことは、5年前の高等部二年生の時の状態について、聴取したことをまとめたもの。）</p> <p>日付、時刻～よく理解できている。</p> <p>数、数量～計算には時間はかかるが、二桁までの加減は大体良好。三桁になると難しい。買い物の時には、大きな金額の札で支払いおつりをもらっていた。</p> <p>書字～筆圧が弱く、読み取れない字も多く、線が一本抜けていたり、多かたりする。筆順は自分なりの書き方。</p> <p>読み～一、二行の文章はわりとすんなりと読むことができていた。難しい漢字でも知っているところがあった。読み違い（勝手読み）は目立っていた。</p> <p>聞き取り～一対一での指示は入っていくが、集団における指示はほとんど入らない。特に周囲で誰かが話しているとその話にも気をとられてしまう。三人以上で話し合うことはかなりストレスになる。早合点してしまうことも目立つ。</p> <p>話すこと～慣れた相手だと、早口になる。筋道の通った話をするのが難しく、何が言いたいのか周りに伝わりにくいことがある。</p> <p>比較・推測すること～予想することは苦手。どうすればいいのかを考えて、自分の考えを述べることも難しい。自分の意思を言葉で表すことはできるが、誰かに言われたことをまねているだけのことも多い。</p>

特別支援学校高等部の
元担任からの情報

指導上の留意点について～

- ① 同じような内容のことについても、理解できているときとそうでないときの差が大きい。特に集団の場面では、話したことが届かないことは多かった。
- ② 自分でできないときになかなかヘルプコールが出せない。
- ③ 教えられたことを忠実にやろうとするが、思った通りにならないと、何か理由をつけてやっていることを止めてしまうことがあった。
- ④ 人に認められたい気持ちはとても強く持っており、虚勢を張ってしまうところが度々見られた。
- ⑤ なかなか伝えたことが身につかないときに、繰り返し声をかけると腹を立ててしまうことがあった。

支援目標を達成していく上で効果が認められたこと～

- ① 作業していく内容については、他の生徒がいない教室で、担任と一対一で見本を示しながら教示していくと、5～6工程の内容でも対応できることは多かった。
- ② やるべきことについての内容とその手順は、料理のレシピのように、写真を添えて文章で示すと、自分で確認しながら取り組めることが多くなった。

サービス等利用計画・障害児支援利用計画（案）

利用者氏名（児童氏名）	水道橋 久	障害支援区分	区分3	相談支援事業者名	相談支援センターひまわり
障害福祉サービス受給者証番号	000XXX##	利用者負担上限額	0	計画作成担当者	六本木はやと
地域相談支援受給者証番号	000XXX???	通所受給者証番号	000XXX\$\$\$		

計画作成日	平成 30年 6月 5日	モニタリング期間（開始年月）	平成 30年 8月	利用者同意署名欄	
-------	--------------	----------------	-----------	----------	--

利用者及びその家族の生活に対する意向（希望する生活）	<p>久さんは、特別支援学校の高等部卒業後一般企業で働いていたが、「上司の注意が怖い。仕事に集中できない」と言って退職した後は引きこもりがちな生活をしてきた。昨年、父親が交通事故で右半身に後遺症が残り、久さんの面倒を見られなくなった。久さんは、「父親に世話になったので迷惑をかけたくない」「3年後には普通に仕事をして立派な人になりたい」「自分のことは自分でできるようになりたい」という希望を持っているが、「今は朝も起きられない」「働く自信もない」のでそのための「準備をしたい」と思っている。また、「困りごとは相談したい」という気持ちがあり、一人暮らしに向けた準備をするためのグループホームの利用と就労に向けて準備をするための就労継続支援B型の通所を希望している。また、「昆虫の話ができる友だちが欲しい」と思っている。</p> <p>父親は「私も体が不自由になってしまい久の面倒はみられません。久には福祉サービスを利用して自立してほしい」と言っている。</p>
総合的な援助の方針	<p>グループホームでは生活上の様々な経験を積み、就労継続支援B型では、仕事を継続するためのコツを身につけて自信をつける。また、生活上のことを相談できる力をつけることや、生活上の楽しみを見つけることで、「自分のことは自分でできるようになる」という目標が達成できるよう支援する。</p>
長期目標	<p>①グループホームでは、掃除や洗濯、調理等の生活していく上での力をつける。 ②就労継続支援B型事業所では、仕事を続けていくうえでの自信をつける。 ③相談する力をつける。 ④この間に見つけた昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみを継続する。</p>
短期目標	<p>①グループホームの日常生活に慣れる。 ②就労継続支援B型事業所の作業に慣れる。 ③わからないことや困っていることを相談する。 ④昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて相談する。</p>

優先順位	解決すべき課題（本人のニーズ）	支援目標	達成時期	福祉サービス等		課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
				種類・内容・量（頻度・時間）	提供事業者名（担当者名）			
1	グループホームで一人暮らしに向けた準備をしたい。	グループホームの生活に慣れて、掃除や洗濯、調理等自分でできることを増やす。	12ヶ月	グループホーム 毎日	ピアハウス サービス管理責任者 川崎 生活支援員 名古屋 世話人 豊田	スケジュールを覚えて生活リズムを身につける。 掃除や洗濯、調理の仕方は、世話人さんに教えてもらいます。	3ヶ月	*朝なかなか起きることができない
1	今は働くことに自信がないのでそのための力をつけたい。	いろいろな作業経験を積んで得意なことを見つける。	12ヶ月	就労継続支援B型 月～金	スマイル サービス管理責任者 本田 生活支援員 鈴木	就労継続支援事業所での作業を通して経験を増やします。	3ヶ月	*朝なかなか起きることができない
2	困りごとは相談したい。	生活のこと、仕事のことなどで困ったり、不安だったりを相談できるようにする。	6ヶ月	グループホーム 毎日 就労継続支援B型 月～金	ピアハウス 豊田・名古屋・川崎 スマイル 鈴木・本田 ひまわり 六本木 西村病院 西村	グループホームで一日の出来事を報告します。 仕事については、就労継続支援事業所で相談します。 服薬をして定期的に通院します。	1ヶ月	
3	楽しみをみつきたい。	昆虫等の趣味や、友だち活動等の生活上の楽しみについて話を聴きます。	6ヶ月	グループホーム 毎日 就労継続支援B型 月～金 病院	ピアハウス 川崎 スマイル 本田 ひまわり 六本木	昆虫等の趣味や、友だち活動等の楽しみについて話を聴かせてください。	3ヶ月	

氏名 水道橋 久

記入

	項目		介助が いるか	程度	項目		介助が いるか	程度	
	日常生活面	起居動作	起き上がり	<input type="checkbox"/> 有		衛生保持	手洗い	<input type="checkbox"/> 有	
寝返り			<input type="checkbox"/> 有		爪切り		<input type="checkbox"/> 有		
姿勢保持		座位	<input type="checkbox"/> 有		耳掃除		<input type="checkbox"/> 有		
		立位	<input type="checkbox"/> 有		月経		<input type="checkbox"/> 有		
移動		屋内	<input type="checkbox"/> 有		行排泄	排尿	<input type="checkbox"/> 有		
		屋外 (徒歩)	<input type="checkbox"/> 有			排便	<input type="checkbox"/> 有		
衣類着脱		着脱行為	<input type="checkbox"/> 有		食事全般	飲食行為	<input type="checkbox"/> 有		
		服装の選択	<input type="checkbox"/> 有			食事状況	<input type="checkbox"/> 有		
整容行為		歯磨き	<input type="checkbox"/> 有			調理全般	食事の後片付け	<input type="checkbox"/> 有	
		洗顔	<input type="checkbox"/> 有		調理		<input type="checkbox"/> 有		
		整髪	<input type="checkbox"/> 有		入浴全般	安全確認	<input type="checkbox"/> 有		
		ひげ剃り	<input type="checkbox"/> 有			入浴の準備と片付け	<input type="checkbox"/> 有		
		化粧	<input type="checkbox"/> 有			入浴	<input type="checkbox"/> 有		
特記事項									
コミュニケーション		困ったときに相談しているところ 生活上の支援機関、支援者など 意思の表現方法							
社会参加・移動		好きなこと 嫌いなこと 移動の方法							
家庭生活	どこでだれと暮らしているか？ 家庭での主な介護者 介護者の状況								
経済状況	主な生活財源 就労による収入 預貯金 円/月 円 <input type="checkbox"/> 年金 <input type="checkbox"/> 障害者特別手当 <input type="checkbox"/> その他 (級)								

項目	介助が いるか	程度	特記事項	
				行動面
行動面	行動面での障害1	こだわり行動	<input type="checkbox"/> 有	
		徘徊	<input type="checkbox"/> 有	
		無断外出 無断外泊	<input type="checkbox"/> 有	
		錯覚・幻視・幻聴	<input type="checkbox"/> 有	
		被害妄想	<input type="checkbox"/> 有	
		自殺願望・企画	<input type="checkbox"/> 有	
		不潔行為	<input type="checkbox"/> 有	
		異食行為	<input type="checkbox"/> 有	
		収集癖	<input type="checkbox"/> 有	
		物忘れ	<input type="checkbox"/> 有	
		反社会的行為 (盗癖、虚言など)	<input type="checkbox"/> 有	
	行動面での障害2	自傷行為	<input type="checkbox"/> 有	
		他者に対する 粗暴行為	<input type="checkbox"/> 有	
		器物に対する 粗暴行為	<input type="checkbox"/> 有	
		奇声や騒がしさ	<input type="checkbox"/> 有	
		パニック	<input type="checkbox"/> 有	
		多動・行動の停止	<input type="checkbox"/> 有	
		思考障害	<input type="checkbox"/> 有	
	感情・ 障害 思考	感情不安定	<input type="checkbox"/> 有	
過大・過小評価		<input type="checkbox"/> 有		

《その他》

(ジェノグラム)	(エコマップ)
----------	---------

《アセスメントの要約》…ご本人の状況や今後に向けての思いを100文字程度にまとめる

⑤

ニーズの整理表

グループ

利用者名 水道橋 久 さん

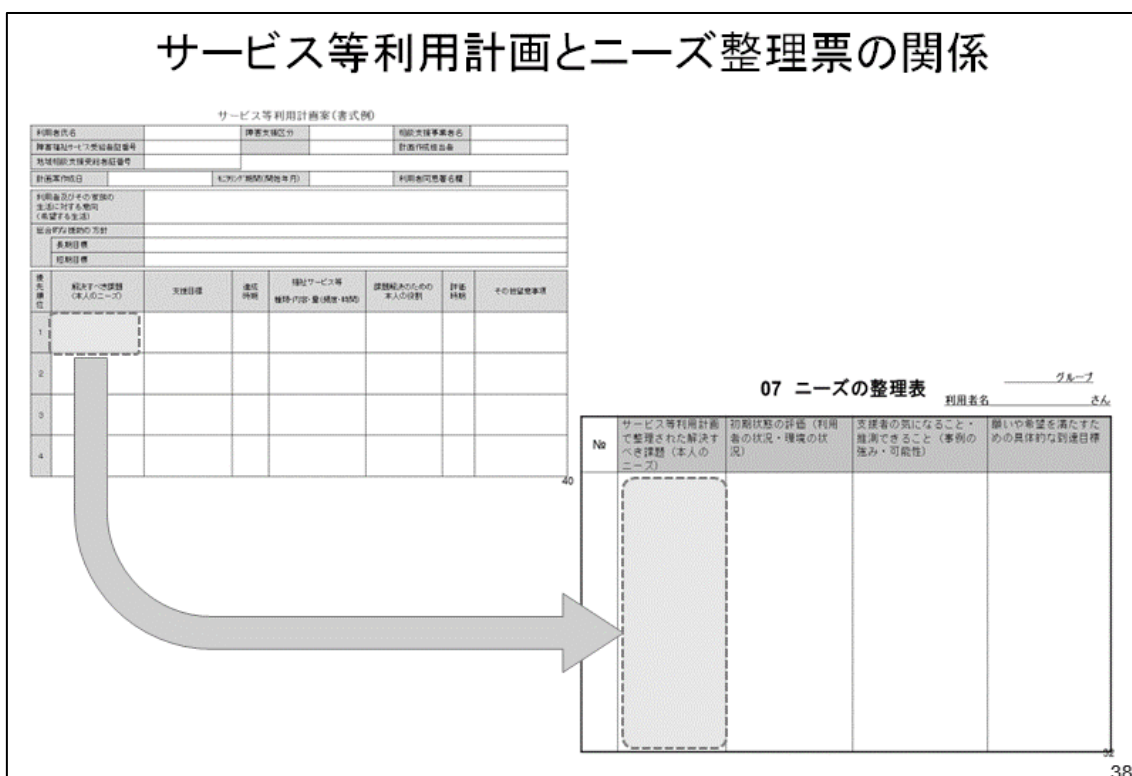
No	サービス等利用計画で整理された 解決すべき課題（本人のニーズ）	初期状態の評価 （利用者の状況・環境の状況）	支援者の気になること・推測でき ること（事例の強み・可能性）	願いや希望を満たすための具体的な 到達目標

「ニーズの整理表」作成のヒント

「ニーズの整理表」は、個別支援計画を作成するための基礎資料です。
事業所における個別支援計画を作成する上で、相談支援専門員が作成したサービス等利用計画とのリンクを意識しておくことが大切になります。

サービス等利用計画＝生活全般をアセスメントし、本人の願いを中心に生活や
支援の全体像を示したもの

個別支援計画＝本人の願いをかなえるために、各事業所の機能を用いて
行う支援内容を具体的に示すもの



そのため、ニーズの整理を行うにあたっては、サービス等利用計画に示されている「解決すべき課題(本人のニーズ)」をとりあげていきます。
ただし、単なる下請けになる必要はありません。各事業所の持つ専門性を生かしたプラスαの気付きも積極的に盛り込んでいきましょう。

ニーズの整理表 記入の例

記入例 1

資料⑤

ニーズの整理表

利用者名 所沢 太郎 さん

No	サービス等利用計画で整理された解決すべき課題(本人のニーズ)	初期状態の評価 (利用者の状況・環境の状況)	支援者の気になること・推測できること (事例の強み・可能性)	願いや希望を満たすための具体的な到達目標
	<ul style="list-style-type: none"> 自分の家で暮らしたい。 人の役に立つことを喜んでほしい。 生活リズムを整えたい。 友たちを作りたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 年齢55歳。23歳で統合失調症を発症し、以後は入退院を繰り返している時期が長かった。 直近の入院は3年前。退院を継続しており現在は病状安定している。 両親が残してくれた自宅で一人暮らしをしている。 家のそばに田舎があるが、作物は作っていない。草刈りは時々する。 障害年金1級。貯金は200万円。 炊飯や簡単な調理はできる。弁当や惣菜を買ってきて食べていることが多い。 掃除や洗濯はあまりされず、服製にも無頓着。 話し好きで人とかかわりを求めているが、人との距離の取り方が苦手なラブラになることが多い。 慢性的な妄想・幻覚があり、服薬を忘れると悪化する。 調子が悪いと周囲の人に対して攻撃的になることがある。 することがない日中も寝て過ごし、生活リズムが乱れやすい。 近所の人がかときき聲等をくれる。 	<ul style="list-style-type: none"> 両親が残してくれた自宅がある。 近所の人との関係は悪くない。 病状安定している。 服薬忘れが続くと悪化するので、定期的に確認の方が良いかも。 人とかがわることが好き。 支援者を頼りておき、声かけや助言に素直になじられる。 掃除や洗濯も、声かけや支援があれば進んでやれるかも。 経済的に安定している。 自転車で買い物に行ける距離にスーパーがある。 かつて調子の良い時期には、短期間だが木工所や警備会社で働いた経験がある。 草刈り機が使える。 近所の草刈り屋手伝ってあげたら喜んでもらえるかも。 	

サービス等利用計画からの転記+α

把握している情報をもとに、課題解決(ニーズの実現)に関係ありそうな情報や気づきを書き出します。

記入例 2

ニーズの整理表

利用者氏名 ○○ ○○

No	サービス等利用計画で整理された解決すべき課題(本人のニーズ)	初期状態の評価 (利用者の状況・環境の状況)	支援者の気になること・推測できること (事例の強み・可能性)	願いや希望を満たすための具体的な到達目標
1	仕事をして家族を少しでも養いたい	右片麻痺の状態ではあるが、パソコン操作が可能である。以前の職場でもPCの経験がある。両手操作の際の工夫が必要。	①本人に合った仕事内容を支援者が把握できていない。 ②引きこもりがちであったため集中力や耐久力がかもつが気になる。 ③PC操作が可能である。	
2	人との関わりを持ちたい	家族との関係は良好であるが、言語障害があり引きこもりがちになった。	①病院へ通院し言語療法を受けている。徐々に回復しているとのこと。	
3	またガーデニングができるようになりたい	庭の環境を整備すれば、能力的には可能である。	①花や観葉植物が好きで春はよく育てていた。	
4	在宅での生活を続けたい	家族の支援で生活は成り立っている。	①家族の介護負担が気になる。	
5	毎日通所させたい(家族)	現在の体力では毎日の通所は無理がある。	①本人が就労に向けて前向きに取り組もうとしている。 ②体力が落ちているので段階を踏って進めていく必要がある。	

整理表の作成の仕方には、記入例2のように課題(ニーズ)ごとに枠を設けて、それぞれの課題にかかわる情報や気づきを記入する方法もあります。
今回の課題では、記入例1のように、情報や気づきをランダムに書き出す方式で取り組んでください。